

# 2023年3月期 第4四半期 決算説明資料

株式会社 旅工房  
(証券コード6548)  
2023年5月15日



次に行く旅は、きっと一生忘れない。

## 2023年3月期 第4四半期 決算概要

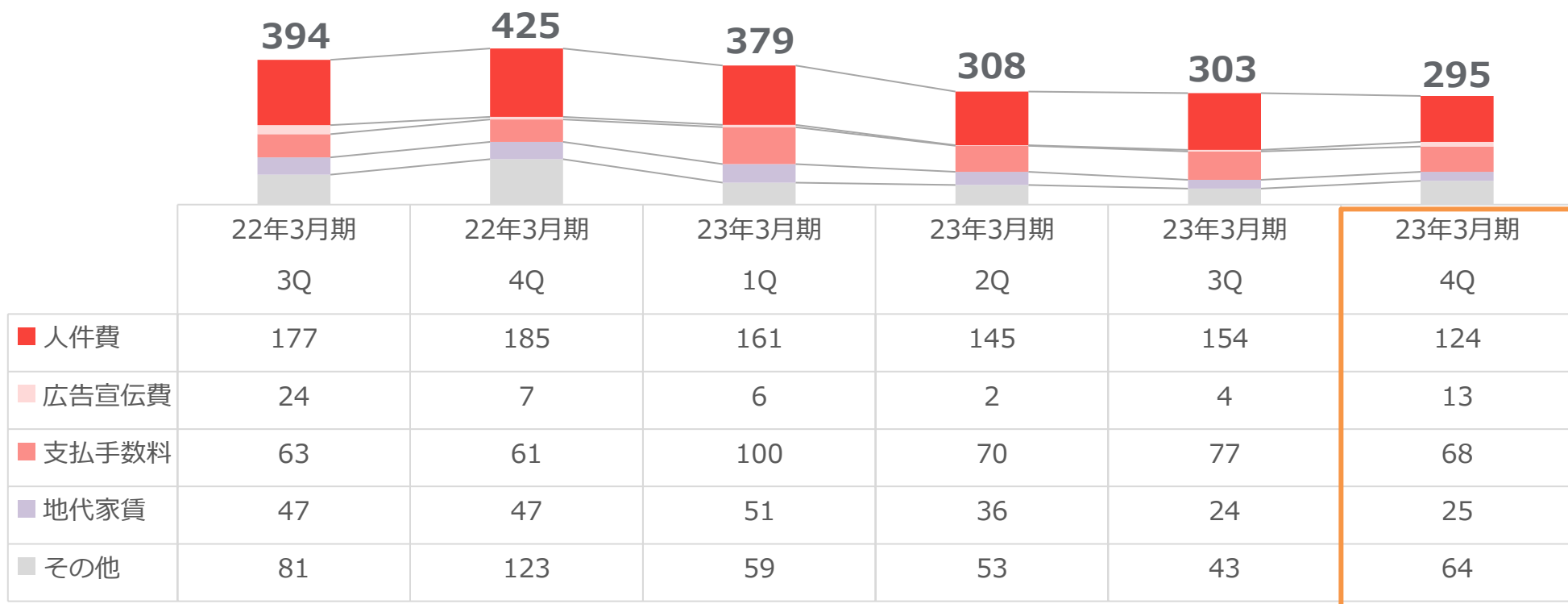


## 海外旅行市場は回復傾向にあり、当社の損益も着実に改善

単位： 百万円	21/3期 3Q	21/3期 4Q	22/3期 1Q	22/3期 2Q	22/3期 3Q	22/3期 4Q	23/3期 1Q	23/3期 2Q	23/3期 3Q	<b>23/3期 4Q</b>	22/3期3Q 比較増減	22/3期4Q 比較増減	21/3期4Q 比較減額
売上高	434	171	132	252	355	296	193	268	250	<b>550</b>	+299	+253	+378
売上総利益	73	2	38	36	62	74	46	90	118	<b>144</b>	+26	+69	+141
販管費	<b>488</b>	<b>509</b>	<b>467</b>	<b>381</b>	<b>394</b>	<b>425</b>	<b>379</b>	<b>308</b>	<b>303</b>	<b>295</b>	△8	△129	△213
営業利益	△415	△506	△429	△345	△332	△350	△333	△217	△185	△ <b>151</b>	+34	+198	+355
経常利益	△286	△337	△387	△295	△308	△347	△306	△218	△191	△ <b>162</b>	+28	+185	+175

## 引き続き販管費の抑制を進めるが 海外旅行市場の回復の需要取込のために 2024年3月期は新規採用を再開

単位：百万円



## 純損失1013百万円、新株予約権による資金調達977百万円等で 自己資本は40百万円減少、来期以降も資金調達を継続

単位：百万円	22年3月期 末	23年3月期 4Q末	増減
総資産	3,667	1,846	△1,820
自己資本	△1,052	△1,093	△40
自己資本比率	△28.7%	△59.2%	△30.5%
有利子負債	3,800	2,299	△1,501
現金及び預金	2,818	827	△1,990
運転資本*	△348	156	505
敷金・保証金・預け金等	399	313	△86

\* 運転資本 = 流動資産（除く現金及び預金） - 流動負債（除く短期借入金）

## 2024年3月期 通期業績予想



海外旅行市場は回復傾向にありますが、情勢は日ごとに変化しており、現時点での合理的な業績予想の算定ができないため、

**2024年3月期の業績予想は未定**とさせていただきます。

今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## 今後の事業方針





## 海外旅行市場の回復を捉えるために経費削減は維持しつつ採用を再開

### 事業環境の予測

海外旅行市場は回復傾向にあり、コロナ前の水準に向かって着実に回復していくと予測

### 海外旅行市場の回復を捉えるための施策

回復を見込む海外旅行市場の需要を確実に捉えるために新規採用を再開し、広告宣伝費の投下も拡大させていく

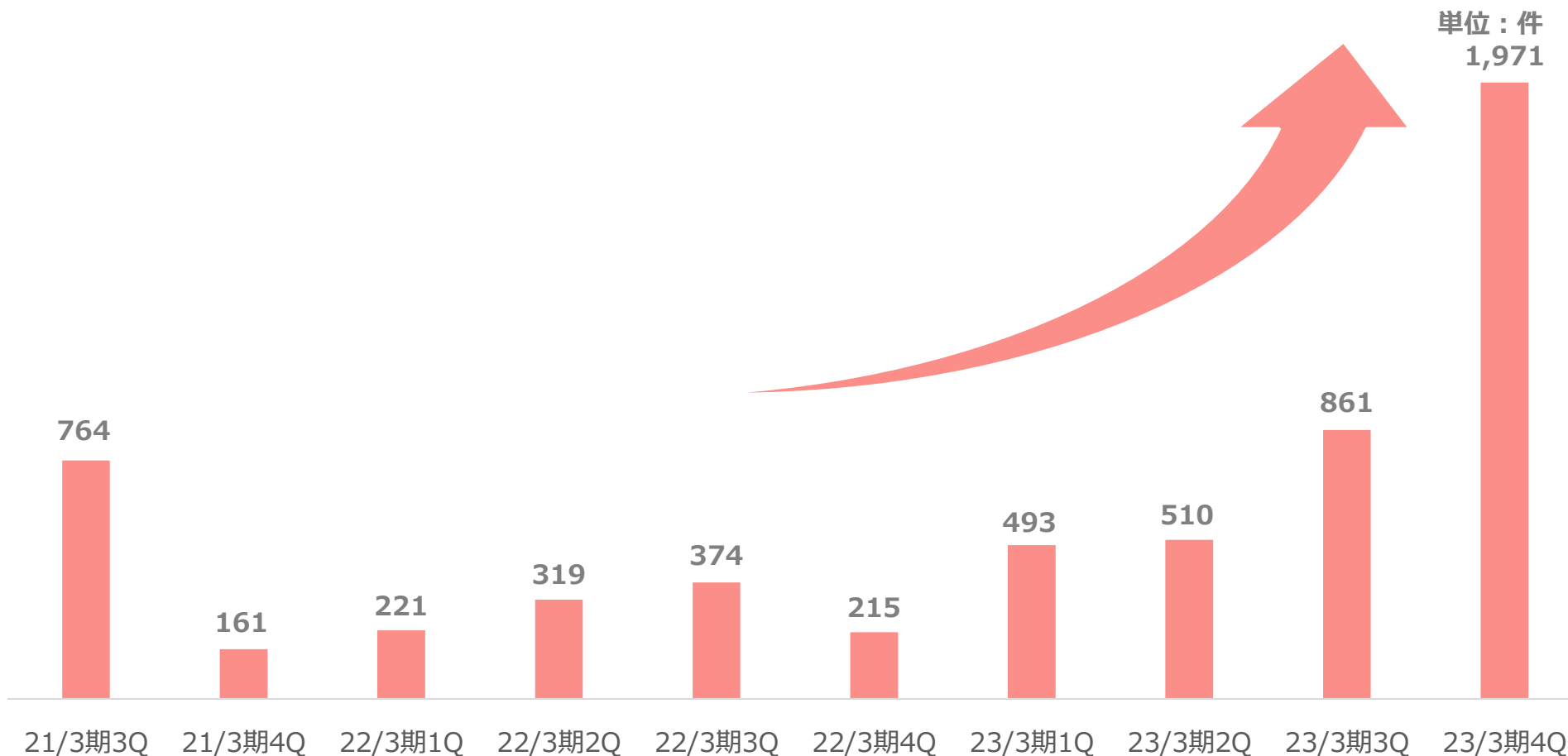
### 新株予約権による資金調達の継続

債務超過の解消、負債の返済などによる財務の健全化のために新株予約権による資金調達を実施、2024年3月期も行使を継続

なお、当4Qまでの資金調達額は977百万円（行使個数20,223個 未行使残個数39,777個）となっております。

また、2024年4月にも5,900個行使され、201百万円の資金調達を行っております。

海外旅行市場は着実に回復に向かっており、  
当社へのお客様からの受付件数についても伸びております。



\* 受付件数と最終成約件数（売上に直接つながる数値）の間には成約するか否かやキャンセルなどで差異が出ます。  
また、当社は旅行の帰着日で売上計上をしているため、受付と売上計上時期には乖離があります。

## 免責事項

- この資料は投資家の皆様の参考に資するため、株式会社旅工房（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、作成日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 当資料に掲載されている内容は、資料作成時における当社の判断であり、作成にあたり当社は細心の注意を払っておりますが、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではなく、内容についていかなる表明・保証を行うものでもありません。

## 将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。